

向こう1年間の市場見通し (4月7日時点)

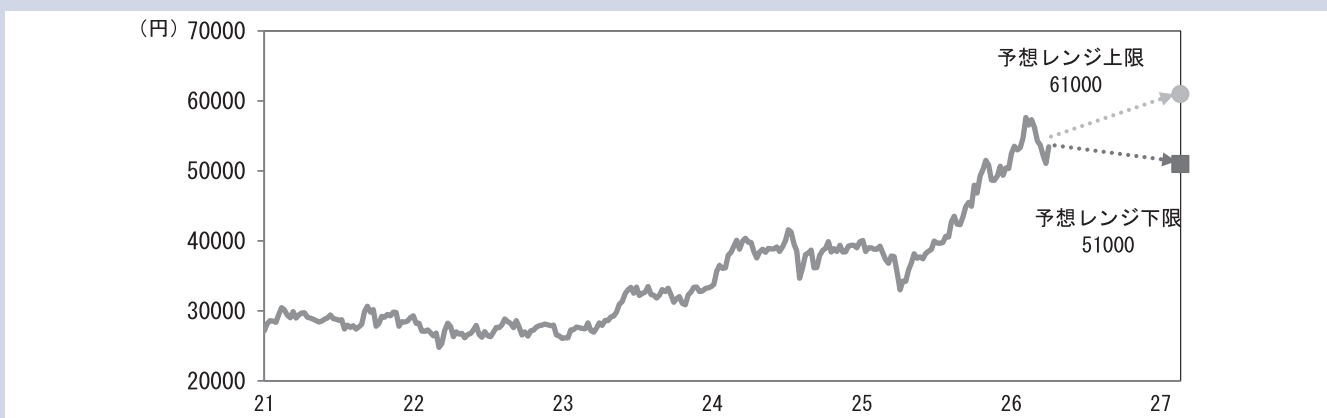
経済調査部 主席エコノミスト 藤代 宏一(ふじしろ こういち)

予想コメント

	コメント
株式	日本株は、高市政権の経済政策に対する期待から上昇基調を強めた後、イラン情勢悪化に伴う原油高を受けて下落した。当面は地政学リスクを警戒する動きが続こう。もっとも政策対応によって原油高の直接的な影響は限定的であり、内需関連株は持ち堪えている。積極的な株主還元も好感されている。
ドル円	FRBは2025年後半に累積0.75%ptの利下げを実施した後、3月までは据え置いた。利下げ打ち止めが意識されるなか、ドル高主導で円安が進む可能性がある。もっとも、日米政策当局による為替介入の可能性が意識されるなか、一方的に円安が進む可能性は低下したと考えられる。
金利	日銀は3月に政策金利を0.75%で据え置いたものの、先行きの利上げ方針は維持した。インフレ圧力が高まるなか、円安に対する警戒もあり、利上げを続ける公算が大きい。半年に一度の利上げが標準となろう。長期金利はインフレ定着が予想される下、2%台前半～半ばで推移するとみている。

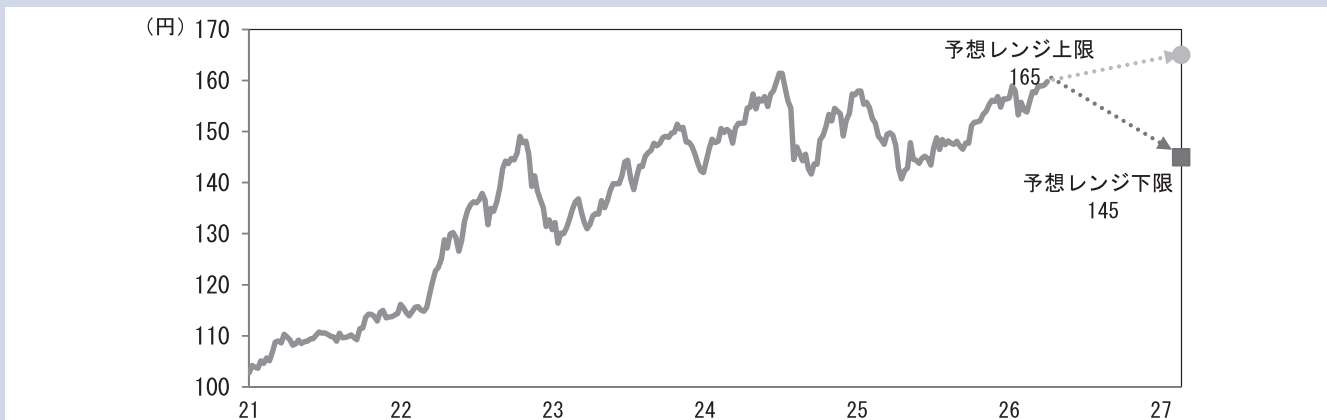
(注)記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

向こう1年間の日経平均株価



(出所) LSEGより作成

向こう1年間のドル円相場



(出所) LSEGより作成